



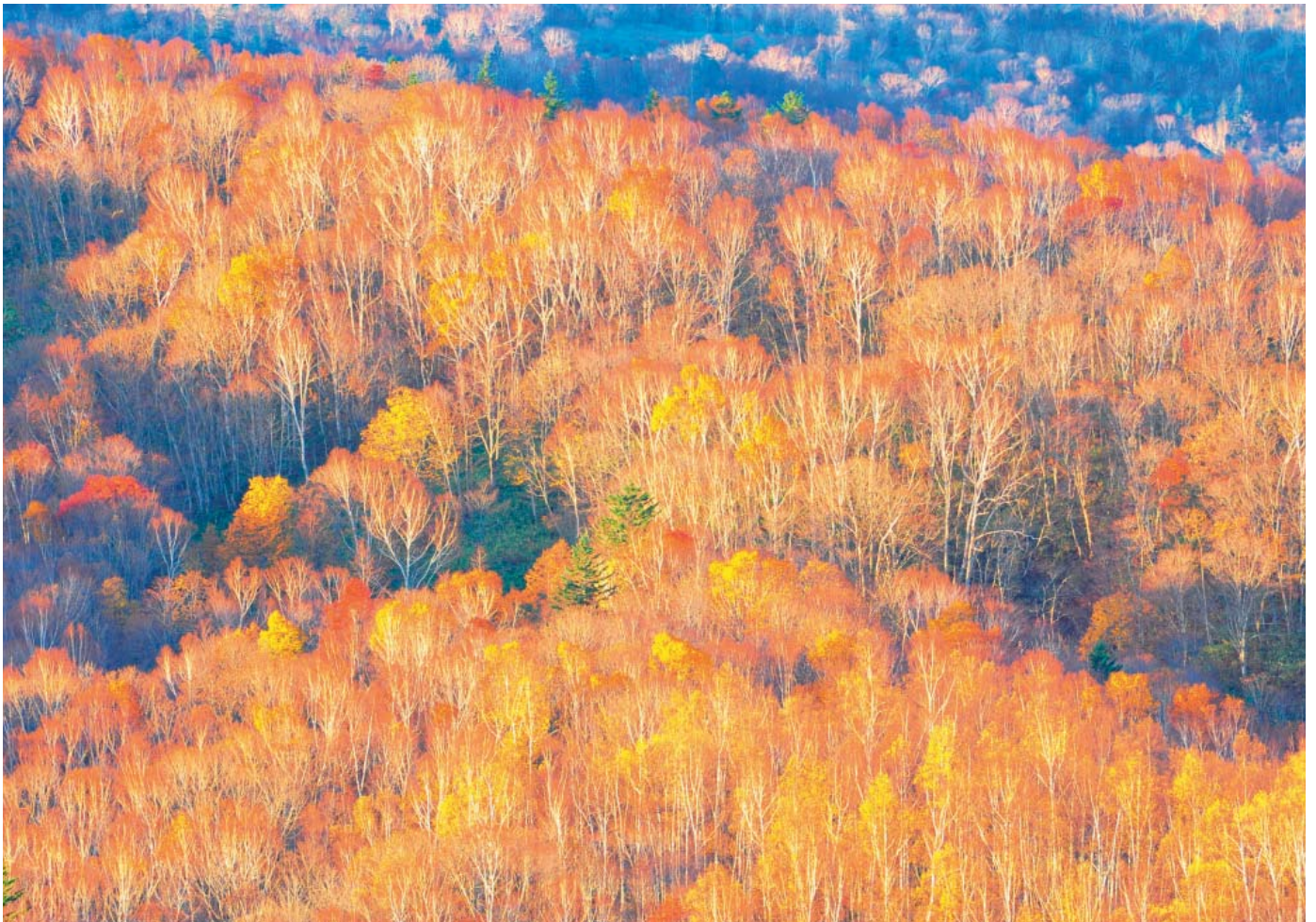
Hokkaido Lifelong Learning Association

# ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



## 目次

- |                              |                          |
|------------------------------|--------------------------|
| ●生きがいづくり生涯学習促進事業 …………… 2     | ●「ほっかいどう学」検定 …………… 5     |
| ●「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業 …………… 2 | ●随想11 …………… 6            |
| ●「ほっかいどう学」かでの講座 …………… 3      | ●新会員紹介・事務局からのお願い …………… 6 |
| ●道民カレッジ」からのお知らせ …………… 4～5    |                          |
| ○「道民カレッジ」大学放送講座              |                          |
| ○「道民カレッジ」出前講座                |                          |

## 生きがいづくり生涯学習促進事業について

◎事業の趣旨

高齢化、情報化等の社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生を送るために、道内九管内の市町村で講演やシンポジウムなどを実施いたします。

◎実施市町村及び開催月日

実施市町村	開催月日	実施市町村	開催月日	実施市町村	開催月日
標 津 町	6月18日	釧 路 市	12月～2月	豊 浦 町	12月6日
北 斗 市	7月30日	美 幌 町	11月中旬	ニセコ町	10～11月
本 別 町	11月10日	利尻富士町	未定	新ひだか町	1月下旬

◎この事業は、道民カレッジの連携講座に指定されていますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

◆6月18日（金）標津町生涯学習センター（あすばる）を会場に55名の住民の方々が参加するなかで、「生きるとは学ぶこと」を柱とした、生きがいづくり生涯学習促進事業が開催されました。

当日は、(株)笑顔塾の小菅美恵子氏を講師に、「笑顔は最高の教養」と題し、小菅氏の経験談を交え、笑顔の大切さについて学習を深めた一日でした。

◆7月30日（金）北斗市総合文化センター（かなで～る）を会場に159名の住民の方々が参加するなかで、生きがいづくり生涯学習促進事業が開催されました。

当日は、福祉レクリエーションワーカーの水谷真貴子氏を講師に、「楽しく笑って健康に」をテーマにした実技を伴う講演と、渡島教育局社会教育指導班（小田主査、清水社会教育主事）と北斗市教育委員会社会教育課（小野社会教育主事）の進行による「北斗市なんでも学」をクイズ形式で行う地域学が行われました。



7月30日（北斗市）

暑い日でしたが、参加者がひとつになって身体と頭脳を活性化する有意義な一日となりました。

## 「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業 「ほっかいどう学」実践講座

◎学習テーマ「道民の皆様が現在住んでいる地域について過去を知り、未来のありかたを考える」  
～学んだ知識と能力を生かして～

◎参加費 札幌会場 1,000円、地方会場 500円

開催圏域	道 央 圏	道 央 圏	オホーツク圏	釧路・根室圏	道 北 圏	道 南 圏	十 勝 圏
テ ー マ	郷土の歴史や文化の学びをとおして			NPOと市民協働によるまちづくり	郷土の歴史や文化の学びをとおして		
開 催 期 日	平成22年12月12日(日) 13:00～16:00	平成23年1月22日(土) 13:00～16:00	平成22年10月10日(日) 13:00～16:30	平成22年11月27日(土) 13:00～17:15	平成22年12月5日(日) 13:00～16:30	平成22年11月28日(日) 13:00～16:30	平成22年10月17日(日) 13:00～16:30
会 場	札幌市 (かでの2・7) 820研修室	札幌市 (かでの2・7) 710会議室	北見市 (北見芸術文化ホール) 多目的室	釧路市 (釧路市民活動センターわっと) 2F会議室	旭川市 (旭川市民文化会館) 第2会議室	函館市 (サン・リフレ函館) 視聴覚室	帯広市 (とかちプラザ) 講習室402
参加者数	100人	100人	60人	100人	100人	100人	100人
講 師	◎合田 一道 (ノンフィクション作家) ◎中神 哲二 (北海道屯田倶楽部理事) ◎紺谷 充彦 (「ほっかいどう学」を学ぶ会幹事)	◎合田 一道 (ノンフィクション作家) ◎井上 和男 (サッポロビール㈱営業部専任部長) ◎小野寺 繁 (「ほっかいどう学」を学ぶ会幹事)	◎合田 一道 (ノンフィクション作家) ◎岡村 功 (北見地区高知県人会顧問) ◎伊藤 静致 (アイヌ語地名研究会副会長)	◎東田 秀美 (NPO法人旧小熊倶楽部代表) ◎小林 友幸 (ふまねっと946) ◎若生 貴仁 (釧路市役所市民協働推進課課長)	◎合田 一道 (ノンフィクション作家) ◎鈴木 邦輝 (名寄郷土史研究会事務局長) ◎金巻 鎮雄 (旭川学研究会会員)	◎合田 一道 (ノンフィクション作家) ◎木下寿実夫 (大野文化財保護研究会会長) ◎齊藤 裕志 (北海道史研究会会員)	◎合田 一道 (ノンフィクション作家) ◎斉藤 省三 (陸別町郷土史研究会事務局長) ◎飛岡 久 (音更町郷土史研究会会長)
内 容	◎講演 「龍馬が描いた夢・北海道」 ◎実践発表会 「北海道の開拓の歴史を訪ねて」 「北海道からのブラジル移民」	◎講演 「遺書に見る時代の風」 ◎実践発表会 「村橋久成が目指したもの」 「屯田兵制度について」	◎講演 「龍馬が描いた夢・北海道」 ◎実践発表会 「北光社の開拓」 「アイヌの地名から見たこの地方の人々の生活」	◎講演 「NPOと市民協働によるまちづくり」 ◎事例報告 「地域連携と福祉」 「釧路市における市民協働の現在」 ◎ワークショップ	◎講演 「龍馬が描いた夢・北海道」 ◎実践発表会 「近代に生きた二人のアイヌ」 「旭川屯田の灌漑溝開削の苦労」	◎講演 「龍馬が描いた夢・北海道」 ◎実践発表会 「二口股の戦い」 「道南の医療史」	◎講演 「龍馬が描いた夢・北海道」 ◎実践発表会 「利別川流域の開拓の歴史」 「大農場と農民のくらし」
コーディネーター	石狩教育局社会教育指導班主査 渡邊 琢真	石狩教育局社会教育指導班主査 渡邊 琢真	オホーツク教育局社会教育指導班主査 小熊 孝一	NPOくしろ・わっと	上川教育局社会教育指導班主査 館合 伸哉	渡島教育局社会教育指導班主査 小田 将之	十勝教育局社会教育指導班主査 氏家 浩之
協 力	本部ボランティア	本部ボランティア	オホーツクボランティア	NPOくしろ・わっと	道北ボランティア	道南ボランティア	十勝ボランティア

道民カレッジ  
連携講座  
《指定講座》

## 前期「ほっかいどう学」かでの移動講座好評のうちに終了！

前期のかでの講座は、初めての試みとして、近代美術館・三岸好太郎美術館・文学館・埋蔵文化財センター各道立施設のご支援をいただき、10講座中8講座を移動講座として開催することができました。

美術館では、学芸員の方から常設展の解説をいただき、作品の時代的背景や特徴を知ることができ、大変好評でした。文学館では、作家の北海道との関わりや小説を書くことへの意図、楽しさを理解することができました。

また、埋蔵文化財センターでは、北海道の縄文文化に触れ、土器拓本づくりや勾玉づくりを体験できました。



6月6日（北海道立文学館）



6月18日（北海道立近代美術館）



8月18日（北海道立埋蔵文化財センター）

後期  
「ほっかいどう学」  
かでの講座  
10月より始まる！

道民カレッジ  
連携講座  
《指定講座》

## 後期『ほっかいどう学』かでの講座

～テーマ「生活に潤いと生きがいを追い求めて」～

会場 道民活動センター かでの2・7 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 TEL 011-231-4111 (内36-343)

定員・対象 100名（どなたでも参加できます。）

単位認定 道民カレッジの指定講座として必修1単位、または「ほっかいどう学」コース2単位のいずれかを選ぶことができます。

受講料 1講座受講1,000円（全講座受講の場合は、8,000円）※受講料は、受講当日に納入してください。

申込み・問い合わせ (財)北海道生涯学習協会に電話・FAX・Eメール等で申し込んでください。

TEL 011-231-4111 (内線 36-343) FAX 011-281-6664 Eメール: college@manabi.pref.hokkaido.jp

1  
回目

とき 10月8日（金）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 710会議室

講演テーマ：「要は腰－骨盤は人体の土台！」  
～骨盤矯正で健康になろう～

講師 (有)三雄カンパニー  
健康指導士・骨盤整体士 舘ヶ沢 本子 氏

2  
回目

とき 10月20日（水）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 710会議室

講演テーマ：「縄文の森へようこそ」  
～森と精霊のおとぎ話～

講師 「北の縄文塾」塾長 榛谷 泰昭 氏

3  
回目

とき 11月12日（金）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 710会議室

講演テーマ：「北海道の健康保養資源を  
活用した地域振興」  
～森林自然環境を生かした健康づくり～

講師 旭川医科大学医学部教授 吉田 貴彦 氏

4  
回目

とき 11月25日（木）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 710会議室

講演テーマ：ドクター辻井の  
「ほっかいどう植物奇譚」  
～怪しい仲間たち 草木編～

講師 北海道環境財団理事長 辻井 達一 氏

5  
回目

とき 12月10日（金）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 520研修室

講演テーマ：「自然環境を生かした医療の実践」  
～森林療法の実際～

講師 植苗病院精神科医 瀧澤 紫織 氏

6  
回目

とき 12月21日（火）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 520研修室

講演テーマ：「北海道の野生動物は今」

講師 酪農学園大学環境システム学部教授 小川 巖 氏

7  
回目

とき 1月18日（火）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 520研修室

講演テーマ：ドクター辻井の  
「ほっかいどう植物奇譚」  
～怪しい仲間たち 樹木編～

講師 北海道環境財団理事長 辻井 達一 氏

8  
回目

とき 1月27日（木）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 520研修室

講演テーマ：「中高年をねらう悪質商法と  
被害防止対策について」  
～賢い消費者になるために～

講師 (社)北海道消費者協会 非常勤講師 武田佳世子 氏

9  
回目

とき 2月9日（水）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 520研修室

講演テーマ：「町の本屋の挑戦」  
～本にはすべての答えがある～

講師 (株)久住書房代表取締役社長  
北海道書店商業組合理事長 久住 邦晴 氏

10  
回目

とき 2月25日（金）13：30～15：30  
ところ かでの2・7 520研修室

講演テーマ：「アイヌ文化について」  
～考古学から見たその本質の一部～

講師 東京大学名誉教授 宇田川 洋 氏

# 「道民カレッジ」からのお知らせ

## 1. 道民カレッジ連携講座後期ガイドブックの発行 (9月下旬予定)

①団体数	143団体	②講座数	768講座
○市町村	26団体	○ほっかいどう学コース	72講座
○高等教育機関等 (大学・短大、専修学校・各種学校、 高等学校・特別支援学校)	63団体	○能力開発コース	57講座
○各種団体	45団体	○環境生活コース	94講座
○道立関係機関	9団体	○健康スポーツコース	158講座
		○教養コース	344講座
		○高等学校等	43講座

## 2. 道民カレッジ登録学生数 (7月末現在)

○合計	24,160人
○男性	10,553人
○女性	13,607人

## 3. 称号取得者数 (7月末現在)

○学士	408人	○博士	198人
○修士	261人	○学長奨励賞	42人

## 4. 「ほっかいどう学」大学放送講座のご案内

- 放送は、毎週土曜日午前5時～5時30分の6回にわたり、HBC（北海道放送）でテレビ放送します。また、再放送は毎週金曜日午前1時56分～2時26分です。

放送日時		大学名・講師名	テーマ
第1回 再放送	10月2日(土) 10月8日(金)	北海道情報大学 准教授 島田 英二	ショートフィルムで人づくり ～札幌の新しい映像文化～
第2回 再放送	10月9日(土) 10月15日(金)	北海学園大学 准教授 岡本 浩一	北海道のまちづくりいろいろ ～まちを愛する道民のすがた～
第3回 再放送	10月16日(土) 10月22日(金)	北海道教育大学釧路校 准教授 北澤 一利	ふまねっと運動の効果 ～「健康」「まち」「ひと」への働きかけ～
第4回 再放送	10月23日(土) 10月29日(金)	北海道大学 准教授 亀野 淳	北海道の雇用を創る ～キーワードは人材育成～
第5回 再放送	10月30日(土) 11月5日(金)	北海道医療大学 教授 井出 訓	地域で支える認知症 ～フレンドシップクラブの現場から～
第6回 再放送	11月6日(土) 11月12日(金)	北翔大学 准教授 山本 敬三	なぜ、飛べるのか？ ～スキージャンプを科学する～

- 平成22年度「ほっかいどう学」大学放送講座テキスト1,000円（別途送料105円）で販売します。  
\*直接道民カレッジ事務局で購入された場合は、送料はかかりません。
- 郵送にてテキスト購入を希望される方は、道民カレッジ「大学放送講座」リーフレットの最後ページにある振込用紙に必要事項を記載し、最寄りの郵便局よりご送金ください。
- ご不明のことがありましたら、道民カレッジ事務局へご連絡ください。

インターネット動画サイトで大学放送講座を視聴できます。  
**ほっかいどう学BB** <http://www.hbc.co.jp/tv/d-college/index.html>  
 平成22年10月12日(火)～平成23年3月31日(木) 開設予定

## 5. 「ほっかいどう学」出前講座のご案内

圏域	市町村名	開催日	会場	テーマ（地域課題）	問い合わせ先
道南圏	せたな町	平成22年 6月20日（日）	せたな町民ふれあい プラザ・太櫓海岸	檜山北部地方のおいたちを知り、地学的景観・産物（地形・地質）の保護・活用への関心を高めるとともに、まちづくりに生かす機会とする。	せたな町教育委員会 0137-84-5111
十勝圏	帯広市	平成22年 7月25日（日）	帯広の森市民活動セ ンター「はぐくむ」	「帯広の森」でフィトンチドを浴びよう！～森林浴の科学的効果を学ぶ～	帯広市教育委員会 0155-24-4111
十勝圏	幕別町	平成22年 7月31日（日）	幕別町明野ヶ岡公園	森林浴・日光浴・植樹をとおして健康づくりを推進する。	幕別町教育委員会 0155-54-2006
オホーツク圏	斜里町	平成22年 9月4日（土）	知床ボランティア活 動施設・知床国有林	樹木医と歩く～オシンコシンの森林散策～	オホーツクみどりネットワーク オホーツク総合振興局林務課 0152-41-0652
釧路・根室圏	釧路町	平成22年 9月11日（土）	釧路町遠矢コミュニ ティセンター	「自分の町の宝を掘り起こそう Part II」	釧路町教育委員会 0154-62-2111
道北圏	士別市	平成22年 10月23日（土）	士別市生涯学習情報 センター「いぶき」	環境問題の取組をとおして地域づくり、まちづくりを推進する。	士別市教育委員会 0165-23-2224
道北圏	中頓別町	平成22年 11月5日（金）	中頓別町民センター	食と健康の関係をとおして生活習慣病の予防など健康なまちづくりを実践する。	中頓別町教育委員会 01634-6-1111
釧路・根室圏	標津町	平成22年 11月18日（木）	標津町文化ホール	地域の祭りをとおして町の活性化につなげる。	標津町教育委員会 0153-82-3110
道南圏	厚沢部町	平成22年 11月	厚沢部町公民館・厚 沢部町自然公園	史跡や自然公園を活用したまちづくりを推進する。	厚沢部町教育委員会 0139-64-3311
道央圏	安平町	平成23年 1月	安平町早来公民館	スポーツ振興をとおして医療費の削減方策を探る。	安平町教育委員会 0145-25-2083
道央圏	奈井江町	平成23年 2月	奈井江町文化ホール	健康と教育と大学の連携によるまちづくりを推進する。	奈井江町教育委員会 0125-65-5318
道央圏	真狩村	平成23年 2月～3月	真狩村公民館	もし真狩でレストランを開くとしたら、あなたはどんな食材や料理を提供しますか	真狩村教育委員会 0136-45-3336

# 締め切りせまる「ほっかいどう学検定」

～学んで生かそう北の未来～

ほっかいどう学検定は、北海道をよく知ることを北海道づくりの基本とし、北海道を理解し、北海道を愛し、北海道の創造的発展の主体となる道民を育てることを目指すものです。

### ◆締切日

平成22年 **10月 8日**（金）

### ◆検定実施日

平成22年 **10月31日**（日）

- 歴史・文化入門 10：30～11：30（50問60分）
- 歴史・文化上級 10：30～12：00（100問90分）
- 自然環境入門 13：30～14：30（50問60分）
- 自然環境上級 13：30～15：00（100問90分）

### ◆検定会場

- ◇札幌会場「北海道札幌南高等学校」
- ◇旭川会場「上川総合振興局（旧上川支庁）」
- ◇函館会場「サン・リフレ函館（函館市総合福祉センター）」
- ◇帯広会場「とかちプラザ」
- ◇釧路会場「北海道新聞社釧路支社」

### ◆出題領域

- 北海道の歴史・文化（公式問題集より出題）
- 北海道の自然環境（公式問題集より出題）

### ◆検定料

- 入門検定
  - 一般 2,500円
  - 大学生 2,000円
  - 高校生以下 1,000円
- 上級検定
  - 一般 3,000円
  - 大学生 2,500円
  - 高校生以下 1,000円

### ◆対象

北海道に興味関心のある道民及び全国の人々

### ◆公式問題集

料金 1,000円（消費税込み）

全道主な書店、検定事務局で販売

### ◆受検申込み・問い合わせ

「ほっかいどう学検定推進機構」事務局まで  
〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 9階  
（財）北海道生涯学習協会内

電話 011-231-4111（内線36-343 36-370）

FAX 011-281-6664

Eメール college@hsgk.jp

随想11

「サッポロの原風景」

札幌の地名はアイヌ語のサッポロ（乾いた・大きい＝乾いた大地）に由来すると言われている。豊平川が札幌扇状地を形成し、その伏流水が泉（メム）となって植物園などの池を残した。北大構内を流れるサクシコトニ川も同様の伏流水の結果である。そこにはハルニレの大木が残されている。かつて札幌はエルムの街と称されていたが、このエルムこそハルニレのことを指している。自然の川の蛇行をもつ流れが失われつつある現在、その蛇行の美とともにエルムなどの植生を守ることが要求されるのである。

酒井秀治さんという方が『KAI』という雑誌の今年の夏号に、「さっぽろスケッチ散歩」としてサクシコトニ川沿いの景観について絵と文を載せているが、まさに札幌の原風景ともいえるエルムゾーンを紹介している。植物園や道庁前庭、その北側の伊藤邸・偕楽園と清華亭庭・北大構内はこのエルムゾーンを残す最後の砦であろう。酒井さんの描いた偕楽園の井頭（いのがみ）龍神は水神信仰として祀られ、大切に

たい札幌の文化遺産の一つであると感じる。

山田秀三さんが『札幌のアイヌ地名を尋ねて』という本を出しているが、偕楽園にあった池をヌプサムメムと書いている。「野・の傍の・泉地」の意味であるという。そして明治32年の『日本名勝地誌』に「園内琴似川の源泉ありて、偕楽園の池水より流出し、軟草両岸を埋め、老樹古桂参差として澗水にかざし、夏時に至れば一層の風致を添う」と書かれていることが紹介されている。これがヌプサムメムの景色であるともいう。

このような札幌の原風景のエルムゾーンを大切に保存したいものであるという趣旨のもとにある会が結成された。それは「札幌・緑の運河＝エルムゾーンを守る会」であるが、その代表に私が押されたのである。すでに署名活動を開始しているが、賛同の輪が広がっていることが嬉しい次第である。

(財)北海道生涯学習協会  
会長 宇田川 洋

新 会 員 紹 介

次の方々新たに賛助会員になりました。今後ともよろしく願いいたします。

個人会員

- ・石 井 貴 (札幌市)
- ・伊 藤 文 明 (江別市)
- ・山 崎 敏 則 (札幌市)
- ・木 村 博 子 (恵庭市)

編 集 後 記

- ・(財)北海道生涯学習協会では、毎年「健康」をテーマに、かでの講座を開設していますが、「暑い夏を元気に生き抜く法」とでも題して暑さ対策の講座が必要と思う今年の暑さです。
- ・今年のNHK大河ドラマは、「龍馬伝」です。土佐をはじめ長崎、京都と龍馬が生きた幕末が全国的に「龍馬ブーム」をおこしています。そこで、協会事業の「ほっかいどう学」実践

事務局からのお願い

- ・会員の皆様で住所が変わられた方は、お手数ですが事務局までお知らせください。
- ・本年度も皆様のご支援ご協力により各種事業を実施しております。つきましては、誠に恐縮に存じますが、会費未納の方は早めの納入についてよろしくお願いいたします。

講座は、10月から12月に全道5会場でノンフィクション作家合田一道氏による「龍馬が描いた夢・北海道」と題し、龍馬と北海道の関わりについて講演を行います。多くの道民の皆様の参加を期待しているところです。  
・お休みをしていました当協会、宇田川会長の随想が、多くの皆様からのご要望の声に答えて復活しました。